

みんなとともにスタートを切りました！ ～設立記念式典～

理事長 西田 良枝

「とも」が社会福祉法人として新しいスタートを切り3ヶ月がすぎました。5月19日におこなった設立記念式典には、294名の方がお祝いに来てくださいました。本当に、ありがとうございました。「ホテルで式典なんて贅沢では…」という声もなかったわけではありませんが、「福祉は公民館か福祉センターで手作り」という固定したイメージではなく、「福祉の仕事」も「社会一般の仕事」と同じように、設立記念は少し晴れがましくと思いました。

今回の式典での願いもいつもと同じ「みんなとともに…」でした。皆さんに感謝の気持ちを伝えたいことはもちろんでしたが、いっしょにお祝いをし、地域福祉を仕事とする法人のスタートを切りたいと思っていました。障害のあるご本人もご家族も、ちょっとおしゃれをして集える式典にしたい、日ごろ裏方をしているスタッフたちも、この日ばかりは裏方をホテルのプロに任せて一緒にお祝いしてほしい、ボランティアの方も行政の方も政治家の方も企業の方も地域の方も、みんなとともに…。

結果、うれしいことがいくつもありました。記念式典の会場をお願いしたホテルとは、障害のある方がたくさん参加されることについての打ち合わせが必要でした。パーティーを数々こなすホテルマンの知識と、障害を持つ方を日ごろサポートする立場の「とも」と両者での打ち合わせです。ホテルの方からは「こんなにたくさんの車椅子の方が入った式典ははじめてでした。勉強になりました。」



みんなで鏡割り

地域の方からは「こんな風に障害を持つ人たちといっしょにいる場が、もっとあったら、『とも』の理念はすぐに現実になるのにね。もっとみんなに知ってもらいたいわ。」企業の方からは「正直、仕事と思ってきましたが、とても感動し、企業の人間としても、何かしなくてはと思いました。何でも言ってください、できることはします。」と、大きな握手を求められました。障害のある人もない人もいっしょのチームで踊る「^{きぼう}輝貌TEAM-YOSAKOI」の踊りは、パーティーを盛り上げ、みんなをひとつにしてくれました。



YOSAKOIで盛り上がりました

ホテルでの記念式典やカラー印刷のパンフレット、通信などは、「とも」が社会福祉法人になって、急に資金が潤沢になったかのような誤解を受けるかもしれません。でも、現実にはNPOのときと何も変わっていません。「とも」は同じ人が同じ場所に通う形のいわゆる施設を持たず、ホームヘルプやガイドヘルプなど利用者の個別の支援をする事業を主にした地域福祉事業を展開する、千葉県では第一号の社会福祉法人だそうです。財源はNPOのときとまったく同じです。お金をかけないでこれらのことができてるのは、カメラマンや編集者、デザイナーやアナウンサーなど、「プロ」の方たちが、ボランティアで仕事を引き受けてくださったり、「とも」を応援してくださるさまざまな方の「特技」を提供していただいているからです。NPOと違い会員制がなくなりましたが、それに代わる後援会もできました。

みなさんの応援を受けた私たちは、「とも」の理念をしっかりとした実践として展開していくことに邁進しなければならぬと、設立記念式典を思い出しながら強く思う毎日です。

地域の中でその子にあった療育を受けたい。障害があってもたくさんの経験をし、その中から自分にあったもの、好きなものを見つけて行って欲しい。そんな思いから今は8つの療育を行っています。たくさんの講師の方々の熱い思いと優しい気持ち、そしてそこに関わってくださるボランティアの皆さんの力もなくてはならないものです！！

各療育講師、担当者コメント

◆ 音楽療法 船橋音楽療法研究室講師の先生方です。

中心講師 益山ゆき氏 一人一人の心に届く音楽を探し、一人一人の心の中に流れる音楽を みつけていきたい。そんな思いで、メンバーと講師とが息を合わせ て、今ここでしかできない音楽を創り上げています。

講師 N S氏 いつも皆さんのエネルギーを感じながら、セッションしています！！
 M H氏 音楽をとおして、一人一人が感じているものを大切にしたいと思っています。
 K A氏 表現力豊かなみなさんと音楽できるのを毎回楽しみに来て います。

とも担当者より 音楽のもつ力に、驚きの連続。様々な音を通しての会話で皆の心が通じています！！

◆ ムーブメント療育 日本ムーブメント教育・療法協会講師の先生方です。

中心講師 向山勝郎氏 「ファンタジックな空間の中で、動きを通して学ぶ」子どもたち、家族の皆さん、「とも」のスタッフの皆さんと一緒に毎月1回体を動かして楽しんでいます。毎月新しい発見をして変わる皆さんの笑顔が、何よりの宝物です。

講師 庄司喜昭氏 遊びを通して子供達の発達を支援できればいいなあとと思っています。
 佐藤 一氏 みんなが楽しく体を動かし、笑顔で心安らぐ時間になりますように！！

講師アシスタント 片村千治氏 子どもも大人もワクワクするような遊びを通じて成長できたら素敵ですね。

とも担当者より ありのまま、楽しく！過ごす中、子どもたちのちょっとした変化や表情にじんわり熱い喜びを感じます。

◆ イルカスイミングクラブ

中心講師 池田君子氏（スキンシップ水泳療育会代表）

イルカスイミングで目指しているのは、水の持っている不思議な魅力で、その人らしさをパワーアップさせる事です。水慣れグループから泳ぐグループ、障害特性や、運動履歴に応じた水中運動プログラムなども、提供させてより生活力が充実できる様にお手伝いしています。

講師 今井玲子氏 子ども達の目線、興味に添った指導を展開していきたいです。
 K S氏 参加される方々に、少しでも喜びを感じてもらえればと思います。
 I T氏 「丁寧に教えながら余暇として楽しめるクラブ」にしたい。
 I S氏 あせらず・たゆまず・あきらめず水の世界が楽しめる様に！！

とも担当者より 自分のペースでゆっくり楽しく継続していけるといいと思います。皆さんが水の中で見せてくれる笑顔と成長がとても楽しみです。

◆ 生活塾

とも担当者より 日常生活を無理なく、楽しく、その子らしく過ごせること。それは 次第に近づいてくる自立の道に通じます。6人の仲間やたくさん のボランティアさん、スタッフと毎週色々なプログラムに挑戦。美味しい夕食をみんなで食べる、子どもたちには多くの変化が見られます。

「今日はこんな事できたね！」皆の笑顔がたえない集まりにしたい。

◆ 造形教室

講師 山崎雅子氏（武蔵野美術大学芸術文化学科助手）

子どもたちの発散の場、可能性の場としてはもちろん、お母さん方 のくつろぎの場でもあって欲しいと思っています。

とも担当者より」 向き合える時間は減っていきます。向き合える時には大切に！

◆ 卓球教室

中心講師 長 かず子氏 私が大好きな卓球で少しでも子どもたちとコミュニケーションがとれたら...という想いで早5年目。1回90分で月2回という限られた時間で本当に少しずつではありますが、確実に成長のあとが見られ、私が感動を頂いています。

講師 T Y氏 大好きな卓球を子どもたちと一緒に出来てうれしいです！
T K氏 みなさんのお手伝いが出来てうれしいです！
M A氏 卓球の40ミリボールが私とあなたのお友達、楽しく打ちましょね。
T S氏 子どもたちの一生懸命な姿に心打たれること、教えられることが多いです。
O M氏 卓球の楽しさを子ども達みんなに伝えられたらと思います。
A T氏 「できたね!」の積み重ねで、楽しさと自信につながればと思っています。
S M氏 笑顔のかわいい子供達の運動不足解消のお手伝いが出来ればとの思いです。
T M氏 卓球を好きになってね!

とも担当者より 運動機能の発達を促すとともに、何より楽しい時間を過ごしてほしい。

◆ 療育・手づくりパン教室

講師 藤田貴子氏 (ル・コルドンブルーにてパンとお菓子のディプロマ取得)

パンを教えている私ですが、毎回新しい発見と驚き・感動をもらい子どもたちに感謝!感謝! 既成概念にとらわれない自由な発想から生まれた衝撃的な作品は、焼きあがったパンの香ばしい匂いと、子どもたちの笑顔で完成!拍手~!

とも担当者より 誰もがリラックスして楽しめる教室です。是非ご参加ください。

◆ クレヨン教室

中心講師 横山之子氏 この仕事を通して、どの子にもそれぞれその子なりの潜在能力や個性があることを感じています。その子にあった働きかけでその子の持つ能力や魅力的な個性を最大限引き出せればと、常に創意と工夫を凝らすよう心がけています。

講師 S M氏 自信や達成感・学ぶ楽しさを味わえる手助けや褒め方が目標です。
K S氏 教室で子ども達がたくさん褒められて自尊心が育ったと思います。
Y J氏 子ども達が一生懸命問題を解こうとしている姿に元気をもらっています。

とも担当者より 「クレヨンいくのぉー!!」って楽しそうなみんなの顔がうれしい!

スタッフよりひとこと

竹 田 (予約センター兼企画室)

“縁の下の力持ち”として今までの経験を生かしたいと思います。

矢 富 (サポートセンターとも相談員)

ともで関西弁で話しをする人はだれ?と言われれば、私の事です。

白 川 (サポートセンターとも相談員)

1年7ヶ月の「がじゅまる」勤務から、7月1日づけでサポートセンターともに異動しました。

後援会のお知らせ

みなさま、こんにちは。このたび、後援会「ともと歩む会」の代表者になりました、中田光昭です。「浦安共に歩む会」が、特定非営利活動法人「パーソナル・アシスタンスとも」となり、おおぜいの父親仲間と一緒に活動してきましたが、社会福祉法人になって運営組織もかわりました。

さて、自分は一体何が出来るのだろうか?という疑問から、フリマ、イベントの出店や広報活動など、今まで「とも」を支えていくために行ってきた活動をこれからもやっていこう!!という事で発足したのが後援会「ともと歩む会」です。

設立創刊号を見ていただいて、会員登録して下さった方々、ありがとうございます。これからも、大勢の方とともに「とも」を支えていきたいと思っています。皆さん、浦安の地域福祉のため、「とも」を一緒に支えるため、どうぞ手を貸してください。

<編集後記>今年度通信担当になりました。しっかり成長していきたいです。(山口)
限られた中で読みやすいレイアウトを考えています。
ご意見や感想などは是非お寄せください。(ボランティアY)